

HOTでスマイル

より快適なHOTライフのための広報誌

第47号

往診しながら大河ドラマの聖地巡り



武井内科循環器科
院長 武井 弘司 先生

今年のNHK大河ドラマ「晴天を衝け」のロケ地が私の住んでいる安中市松井田町でして、テレビを観ているとすでに10回以上放送されているのにまだその場所で撮られたシーンが毎回出てきて、地元では大河ドラマ史上最高視聴率を叩き出していることでしょう。ロケ現場はかなり広い敷地で今年の撮影中に時々往診車で通ると、お百姓さんの恰好をしたエキストラと思われる方々が列をなして移動するところに出くわしたことがありました。テレビを観ていると「渋沢栄一」は松井田町出身なのではと錯覚してしまいます。

ということで当院は松井田町にあり、外観はちょっとクリニックっぽくないとよく言われます。それはエントランスまでの間に鯉のいる池を取り囲む形の花壇が季節の花で彩る庭があるためで、クリニックを訪れる方々の癒しになっているようです。

こんなド田舎では昔の開業医はみな^{よろずや}万事屋で、患者さんは足がないのが当たり前でしたから先々代(産科)の頃から往診を沢山していたようです。それは先代(産科)も同じで私が子供の頃はよく往診に連れて行って来て患者さんのお宅でお菓子をご馳走になったりカブトムシをもらったり。父は俳句をやっていたので往診中に吟行がてら寄り道をするこ

も。そうそう「晴天を衝け」の最初の頃出てきた滝にも往診ついでに連れて行ってもらったことがありました。

最近”在宅医療”という言葉が”地域包括ケアシステム”という厚労省の提唱している仕組みの要ということで取りざたされていますが、往診(今では訪問診療)は日常のことと身体に染込んでいた私にはちょっと不思議な感じです。

安中市は現在県内でも在宅医療が数字的にはかなり多く行われている地域です。

私がここに戻って来た頃、この田舎では介護関連の施設が沢山造られまして施設の訪問が一般的になる前はご自宅への訪問が全く無くなった時期がありました。しかし地道に診療していくうちに徐々に依頼が来て現在は月平均約60人(ご自宅・施設併せて)の患者さんに多い時で120件の訪問や往診をしています。その中にはHOTの方が常に2~6件ほどいらっやいます。コロナ禍で施設や病院での面会がほとんどできない今、ご自宅で訪問診療や介護を選択される方が増えてきている印象があります。そんな中、急な心不全や呼吸不全などの場合もマルホンさんに速やかに対応していただいで大変助かっております。当院はこれからも地域包括ケアシステムの歯車の一つとしてこの地で肅々と営んでいく心算です。



武井内科循環器科様 正面のさつきが満開でした

ホットライフを
もっと快適に！

チューブを2系統にして使用しています

みどり市笠懸町にお住まいの松原忠男様(77歳、HOT歴3年7ヵ月)宅でチューブを工夫してお使いいただいているのでお伺いしました。

まずチューブを室内用と外用の2系統に分けます(写真①)。外に伸ばす系統は、天井に渡したパイプにチューブを沿わせて(写真②)、紐や結束バンドなどで固定します。移動する時は所どころでS字フックに引っ掛けて(写真③)チューブが地面に付かないように工夫されています。



写真① 酸素出口を2系統に分けます。外用にはビニールテープで印を

趣味で庭先に金魚・メダカ・タナゴを飼育繁殖されていて欲しい方には分けてあげたりしているそうです(写真④)。



写真② 廊下の横断は渡したパイプにチューブを沿わせる



写真③ 所要所にS字フックを用意

写真④ メダカや金魚の餌えさやりも酸素をしたまま行えます！

HOTの
快適グッズ

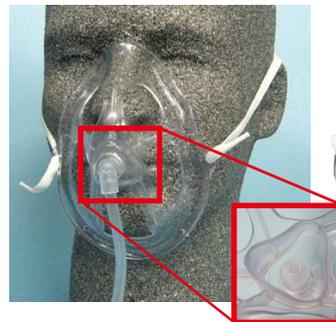
オキシマスク シリーズ

今回ご紹介する「オキシマスク」は、一般的なマスクと違い大きな穴が開いています。FiO₂(吸入酸素濃度)を維持できるのかと疑問に思われるかもしれませんが、特殊なディフューザー(酸素吐出口)による渦流で、鼻と口の両方に酸素を効率的に拡散することにより、酸素濃度を維持することができます。オキシマスクはその開放的なデザインにより以下のような優れた点があり、患者さまと医療スタッフさまの負担を軽減します。

- ①呼気が抜けやすいためCO₂(二酸化炭素)の再吸入が少なく、低流量から高流量まで酸素の使用が可能
- ②マスクを装着したまま、吸引や口腔ケア等の処置ができる
- ③圧迫感が少なく、コミュニケーションがとり易い、ストローで飲み物が飲めるなどQOL(生活の質)の向上が期待できる

成人用、小児用、乳児用の3タイプをご用意しております。

また、同シリーズには酸素出口をあごで固定する「オキシチン」と、ヘッドセット型の「オキシアーム」というデバイスもございます。



あごを支点に酸素吹き出し口を決める「オキシチン」

酸素吐出口の特殊形状により鼻・口両方に効率よく酸素を送ります。



ヘッドセットのマイクのように酸素吹き出し口を設定する「オキシアーム」

いきいき HOTさん



群馬県太田市
木村 颯真さん(9)
(HOT歴6年)

あたたかい家族に囲まれて

息子、颯真が病気になって丸7年が経ちます。生まれてから大きなけがや病気をすることなく天真爛漫に育ちました。

保育園に通っていた2歳11カ月のとき、その日も朝から元気に登園してお友達と遊んでいました。ところが突然頭が痛いと言ったとこのことで保育園から連絡をもらい、帰宅。その後意識が朦朧として嘔吐し、すぐに救急車で搬送となりました。病名は脳動静脈奇形による左小脳出血とのことでした。そして次の日には状態が急変し呼吸停止、血腫除去の緊急手術をすることになってしまいました。

状態が落ち着き1年半の入院を経て退院することになりました。退院後は施設への選択肢もありましたが、私は迷うことなく在宅で看ることを希望し、家族も賛同してくれたので在宅療養に移行しました。



長女・加奈さんの誕生日会を家族全員で自宅にて

写真の愛犬コロンは、颯真の病気が発症する2週間前に飼いはじめました。いつも颯真に寄り添っています。

私は看護師として本島総合病院に長年勤務し、その後近くの山田クリニックに転職していましたが、颯真の病気を機に退職しました。現在颯真は気管切開、24時間人工呼吸器使用、ときどき在宅酸素も使用しています。

退院してはじめての1～2年は体調を崩して入院することが年に数回あり、また感染症による危篤状態にもなりましたが、本人は頑張っ乗り越えてきました。ここ1年は大きく体調を崩すことなく楽しく在宅生活を過ごしています。

週に3回支援学校の訪問授業、ときどきスクーリングで学校にも行きます。週に1日訪問入浴にリハビリ、デイサービスにも行っています。

現在コロナによりお出かけすることができませんが、落ち着いたらまた公園やショッピングモール、ドライブ、ディズニーランドやシーにもまた行きたいと思っています。

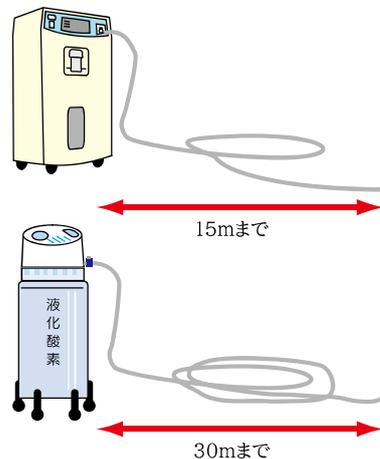


SNSで知り合った全国の難病児ご家族と夢だったディズニーへ

HOTのホント!?

酸素濃縮器は、延長チューブを接続することで寝室や居間だけでなくトイレやお風呂など、日常生活に困らない長さを確認して設置しています。

この延長チューブは酸素濃縮器で15mまで、液体酸素は30mまで延ばすことができます。それ以上になると規程の流量が得られなくなる恐れがあるので、広いお宅の場合などは器械を2台設置することもあります。チューブが長すぎると取り回しが大変になるので、患者様ごとに適切な長さに調整させていただいております。



HOTな社員紹介

私が在宅医療部に異動になって今年で丸20年が経ちました。若い頃は3階の事務所までひと息に階段を駆け上がったものですが、今はそんな気も起きません(笑)。それだけ年を重ねたということで、以前には気付かなかったご高齢の方の気持ちがだんだんわかるようになってきました。これからもHOT患者様がより快適にお過

日々成長する
おじさん
になりたい!!



ごしいただける機器やサービスをご提供できるよう心がけてまいります。コロナで生活様式の変更を強いられている毎日ですが、どうかご自愛ください。

すずき たけし
鈴木 武
部門責任者



知って得する! クイズコーナー

1. カニューラの使用期限はどれでしょうか
 - ① 約1週間
 - ② 約1ヵ月間
 - ③ 約半年間
2. 酸素ボンベは頑丈に作られているのでどこに置いて大丈夫だ。
 - ① ○
 - ② ×

クイズのこたえ

1. ②カニューラは約1ヵ月で皮膚が触れる部分が固くなってきます。装着感が悪くなったら早めに交換しましょう。
2. ②火気から2m以内、40度を超える場所、直射日光の当たる場所、雨のかかる場所は避けて保管してください。これから夏を迎えますので、特に自動車内での保管にはお気をつけください。

編集後記

●巻頭特集にご協力くださいました武井院長先生に大変感謝申し上げます。在宅医療に快適さをモットーにこれからも尽力して参ります。(いとう)

●新型コロナが再拡大してきました。再び気を引き締めて感染しないよう手洗い、うがいを徹底します。(ふじた)

●今回木村様には当時の事を思い出し、涙ながらにお話し頂き、本当に有難うございました。私も貰い泣きしてしまいました。市町村によって補助される物の範囲が異なるようです。是非、皆平等な補償を受けられるよう変わって行くことを望みます。(ますみ)

●梅雨の時期は暑いけれど寒いときもあって苦手です。特に寝ているときに布団をはいで風邪を引いてしまいます。皆さまも体調管理に気を付けて下さい。(おいかわ)